

亞米利加印度人部落の一瞥

村 川 堅 固

私の申上げることば研究の結果でも何でもないのであります。ホンの旅行談の一部でございます。其お積りでお聽きを願ひます。

近年は亞米利加の方へ參る人が著しく殖えまして、私の如きも屢々お土産話を承る機會がありました。餘程面白いものであらうと思ひます。亞米利加印度人のことに就きましてのお話は頓と聞及びませぬでした。それで昨年向ふに參ることになりました。機會があつたならば、是非亞米利加印度人をテヨイとでも見て來たいと云ふ考を以て參つたのであります。それから向ふへ參つて彼方此方旅行を至して見ますと、亞米利加の地名に印度名が非常に澤山残つて居る。殊に西の方にはそれが澤山あります。一體亞米利加人は地名等に付て甚無頓着であつたやうであります。英國人などは外國を我が領地にするに云ふ場合に、よく其當時の王の名前などを付ける。或は本國の地名を移して地名とすると云ふことをやるやうであります。亞米利加人は地名と云ふことに付ては非常に無頓着である。そこで亞米利加の領地になります前に、西班牙が持つて居つた地方には今日と雖も西班牙名が澤山残つて居る。又其中に昔其地方が亞米利

加印度人の領地であつた記念として印度名が澤山残つて居ります。間には今日大都會になつて居る所で、其名前が印度名であると云ふやうな所があります。是は餘程亞米利加の特色で、地名を自分流義に變更すると云ふことをやらない。例へば皆さん御存じの「シカゴ」なんと云ふ言葉、是は歐羅巴風の名前ではないので、印度語のチエカグワから訛つたので、チエカグワは「野生の葱」の義ださうであります。地名を味うて見ますと、彼の大きな大陸が昔は總て亞米利加印度人に占領せられて居たことが分る。所が、今日亞米利加印度人と云ふ者は實に徹々たるものであつて、將に滅絶せんとしつゝある状態であると言て宜い。此地名を考へまするだけでも亞米利加印度人に對して同情の念は非常に起るのであります。因に申しますが、亞米利加印度人のことを此頃向うではクツ付けて「アメリンデイヤン」と使つて居ります。是は成程便利な名前でありませう。「インデヤン」と云ふと亞細亞の方の印度人とも間違へます。それで一々「アメリカンインデヤン」と云ふと長くなるから、「アメリンデイヤン」と申して居ります。私も今日のお話には單に印度人と申しませう。

それから彼方此方を旅行致して見ますと、方々の博物館などに其地方々々の歴史畫が掲げてある所がある。其初めの方から年代順に列べて、其初めの方には抑々印度人と白人との鬭争、それから遂に印度人が降伏して其地方が白人の領地になる次第が、油繪になつて現はされて居る。斯う云ふ物を見ますと又一層印度人に對し可愛相な氣が起つて參ります。それから「ヨセミテ、ヴァレー」の「ヨセミテ」と云ふ名前

も印度名であります。非常に風光の雄偉なるを以て著はれて居ります。桑港から割合に便利に行ける所でもありますから、亞米利加に旅行する人は能く參る所であります。其「ヨセミテ、ヴァレー」などでは「ヨセミテ、ヴァレー」の歴史を活動寫眞に拵へて旅客に見せて居る。ズツと初め印度人が其所を占領して居る時代に白人の「バイオニヤー」、何と云ひますか、先驅の者が段々印度人の地方に這入つて行つて戦争をやつて、さうして其所を占領してしまふ、其有様を活動寫眞で見せる。イロ／＼なことで此方で少し注意して見ると印度人に同情しなければならぬと云ふ種が幾らでもあるのであります。それから紐育に參つて居りました時に、紐育の町外の所に昔の印度人の墓原がある。其所からイロ／＼な墓に附屬した物が掘出されたりする。今日世界第一の都にならうとして居る紐育あたりも僅か二三百年前までは印度人が榮えて持つて居つた所であるかと思ふと、非常な變化に驚かされたのであります。それから歸り途にフロリダに參りましたが、そこにセント・オーガステンと稱する町がある。其所にフォルト・マリオンと云ふ元と西班牙人が造つた砲臺がある。それが英國の物になり、次いで亞米利加の物になつた。其フォルト・マリオンと云ふ要塞も度々主を變へたのであります——其要塞の中に罪人を入れる非常に堅牢な獄屋があります。其一つに、昔白人が來て其地方の印度人と戦争した時に印度人の酋長を虜にして、此牢屋の中に容れ居てつたと云ふ所がある。高い壁の後ろの方に幅一尺に足らぬ位の細い窓があります。長さは二尺か三尺もありませんか。表の方には非常に嚴重な柵であつて、到底表から閉めれば、出入が出来ないやうになつて

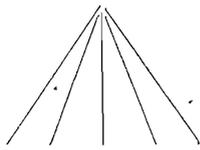
居る。後の方に空氣の流通の爲に窓が一ツ明いて居る。其所に會長を入れて置きました。所が段々に其會長が瘠細りまして、どうして上つたか知れませぬけれども、遂に其窓を、這出して逃げて行つたと云ふやうなことがあります。マアさう云ふイロ／＼な物を見まして、益々印度人の今残つて居る者を見たいと云ふ考になりました。

そこで歸り掛けにニュー・メキシコ地方の印度人、それからアリゾナの一部分に居ります印度人を態々道を枉げて這入り込んで行つて見たのであります。で、一口に印度人と申しますが、是には無数の小さな種族があります。二三百年前までは太西洋岸から太平洋海岸の方まで一面にイロ／＼な種族の印度人が瀰漫して居つた。それが白人が這入つてから一歩々々彼等を西の方に驅逐しまして、今日に於てはもう東の方に印度人の部落と云ふものは一ツも無い。中部に行きますと、内地の方にまだ少し残つて居る。シカゴの如きも僅か百年前まではまだ印度人が随分町に居りました。今日に於てはもう隻影も見ることが出来ない。今日はどの地方に残つて居るかど云ふと、先づ大體ロツキー山脈の山間南方ではテクサスの北オクラホマ地方、北方ではタコタ地方などに残つて居るのであります。其數は非常に僅かなものになつて居ります。精密な統計は分りませぬが、之を其まゝに抛つて置きますと云ふと、早晚滅絶してしまふ。そこで我國に於てアイヌを保護しますやうに、亞米利加印度人の保護を政府でやつて居ります。所謂「リザーヴエシヨン」と云ふものを山の中に拵へて置いて、大抵是は長方形になつて居ります。大きな地面を

印度人の専有の場所として、白人が其中に家を建てるとか、住居をずるとか云ふことは嚴禁をして居る。さうして昔の印度人のやうに廣々とした所に、氣樂な生活をさして、成るべく繁殖をさせると云ふことを致して居る。そこで私の参りました、ニュー・メキシコ地方の印度人なども、近年は減少することは止まつて、何方かと云へば少し殖えるやうになつて居つたと云ふことであります。所が昨年の彼の流行感冒が印度人の部落に非常な勢で這入つて來まして、其爲に澤山の死亡者が出來て、又著しく其數を減じたこと云ふことを申して居ります。さう云ふ風でありますから、保護を致しても矢張り少しづつ減じて行つて、終には無くなつてしまひはしないかと思ふのであります。最近百年間の印度人の數の減じたことは非常なものであります。

印度人の中にイロ／＼な種族があると云ふことを先程申しましたが、其種族に依つて開け方が大變に違つて居ります。或者は殆ど家と云ふ物を持たない。遊牧的に彼方此方と山の中を歩いて居ると云ふやうな者もあります。又或者は天幕生活見たやうなことをやつて居ります。

斯う云ふ風に木を立てまして此上に獸の皮などを張つて、直ぐ組立てられるやうな天幕の中に生



活して居るのもあります。さうかと思ふとニュー・メキシコあたりに行く時、ナカ／＼堂々たる三階も四階もあるやうな家の中に住つて居る印度人もある。又食物の如きも或者は今日も農業をやらずに、全く獵漁に依つて食物を求めて居ると云ふやうな極く未開

なのもありますし。ニュー・メキシコあたりになりますと、玉蜀黍を盛んに拵へて、それで麵麩のやうな物を拵へて食べて居ると云ふ程に開けて居るものもあります。それから手工品の如きも、或者は陶器を造ることに餘程長けて居ります。素焼の瓶、それに極く雅致のある所の繪を書いて焼附けてある。其所に妙な小さな物がありますが、それはニュー・メキシコ地方の土人の實際に獵に行きます時に使ふ水筒の模型であります。それをズツと大きくしたのを本營には使ふのでありますが、それはホンの旅客に記念として賣る爲に造つた小さい物であります。それから或者はバスケットを造ることが非常に上手。是は印度人の手工としては、最も廣く行はれて居るのであります、多數の種族が各々其部落の特色のあるバスケットを造る。バスケットは、印度人の生活には大變に關係の深い物でありまして、宗教上の儀式とか、或は日常生活の上にも缺く可からざる物になつて居る。バスケットを造るには非常な手間を掛けまして精巧な物を造る。又堅牢な物を造つて居ります。煮炊の料理にもバスケットを使ふ。石器も使つて居る所がありますが、其所に一ツ、バスケットの小さいのを見本に待つて參りました、それよりもモツと精巧なのがある。それで水を運ぶのにもバスケットを用ゐる。ポツテリーの陶器を持つて行くのもありますが、水を運ぶ爲に水の漏らないやうに造つたバスケットもあります。それから結婚の儀式に使ふ所のバスケットもある。或はお祭の時に使ふバスケットと云ふやうに、日常生活には固より其他何にもかにもバスケットを使ふ。其裝飾に部落々々の特色があるのであります。